市民記者が行く！広報サポーターレポート

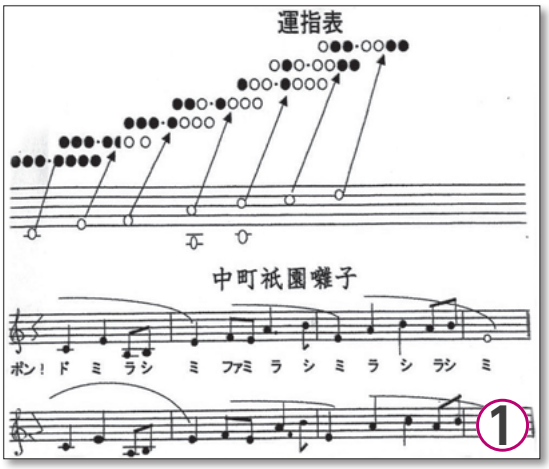
西尾小学校　祇園クラブ（囃子方）

広報サポーター
鈴木正樹さん（馬場町）

西尾小学校・祇園クラブ。このおしゃれな名前のクラブは、西尾小学校の児童が地域の住民の皆さんとの交流をもっと深めようと始めた活動の一環で、西尾祇園祭に関わる伝承文化を継承することを目的として作られました。このクラブからは、市指定文化財である「肴町の大名行列」の演技者、そして「中町の大屋形」の巡行に帯同する囃子方が選ばれます。今回は中町の皆さんに同行し、囃子方の指導を取材することにしました。

毎年、新メンバーが集まるのが6月であるため、祭りまでの猶予はごくわずかです。10人ほどの子どもたちを限られた時間の中で〝歩きながら吹ける〟レベルまで仕上げなければなりません。

笛には運指表はあっても譜面はありません。太鼓などたたけば音の出るものと違って、まずは音を出すことから始まります。



①

②

そこで、伝統からは外れますが、西洋音楽で広く用いられている五線譜に旋律を落とし、運指表も付記した和洋折衷の譜面（写真①）がメンバーに配られました。まずは大声で「ドミーラシミ」と階名で歌ってみると、すぐに覚わったので、次に笛を持ち、そのメロディーを吹いてみました。風の音しか出なかったのが、間もなく一つのメロディーになり、次はきれいな音を出す段階へと変わっていきました。

27年7月19日午後6時、中町の法被を着て大屋形の周りに集まったメンバーは、周囲の観衆を意識しつつも意気盛んに街へ繰り出していきました。人混みでもみくちゃになり、また、大雨でびしょぬれになりながら演奏を重ね、祭りの熱気の中、子どもたちの挑戦が終わりました。（写真②）

例年はここでクラブは解散となるわけですが、今年はさらに半年、活動が続けられました。祭りへの参加という一大目標を失ったメンバーに、どうやって新たな動機を与えるかを中町の皆さんが考えた結果、新曲に挑戦して披露できるようにしようと練習を開始しました。「中町太鼓囃子西小バージョン」と命名し、練習を重ねるごとに盛り上がっていきました。町内の板金屋さんがすてきな台車（写真③）を作ってくれ、気分にも一層拍車が掛かったようでした。

③

最後の練習の日、台車に太鼓を載せて練習場内を練り歩き、新曲を披露しました。そして、メンバーと中町の皆さんの大きな感動とともに27年度の祇園クラブは解散となりました。

夏も近づいてきました。今年の西尾祇園祭でも西尾小学校の祇園クラブの演奏が繰り広げられることでしょう。祭りで中町の大屋形が目に入ったら足を止め、演奏に耳を傾けていただきたいと思います。

広報サポーターは、公募により選ばれた市民記者です。これからも市民の目線で、市内各地のイベントなどを取材していただきます。

にしおdeキラリ★サークル

寄り添える喜び

一色防災ネットワーク

27年２月に撮影。会員、防災ボランティア、昭和28年「13号台風」の語り部をされた田中ふみえさん

防災・災害に関する知識の普及や技術の向上、各防災機関とのネットワークの構築を目的に活動しています。平成17年、あいち防災カレッジと防災ボランティアコーディネーター修了者を中心に、旧一色町の支援を受け誕生しました。

昨年度は、市内23地区の自主防災会を対象に、防災訓練の支援を行いました。合併後は旧西尾市地区からの依頼も増え、活動範囲も徐々に広がっています。各地区の防災リーダーの熱き思いに接し、「寄り添える喜び」が私たちの活力の源泉です。今後もご縁を大切に、よりよい支援ができるよう心掛けたいと思います。

他にも防災女子リーダー研修やボランティアセンターの設置・運営訓練、一色中部小学校の防災教育支援、災害時要支援者の避難体制構築などに、関係機関と連携して挑戦しています。災害が起きたとき、減災・復旧・復興に、これらの活動が生かされることを願っています。また、防災のまちづくりを願う同志を募集しています。

問 久保田（☎73・5174／一色町）

このコーナーに登場してくれるサークル・ボランティア団体を募集しています。詳しくは、秘書課広報担当（☎65・2159）へ。

キッズアルバム

濵田 恵奈（えな）ちゃん
（つくしが丘六丁目）
平成26年12月生まれ
歌と踊りが大好き！これからも元気いっぱい明るい恵奈でいてね☆

川原 瑠宵（るい）くん
（市子町）
平成26年12月生まれ
いつでも満面の笑みの瑠宵♡その笑顔で世界中に友達を作ってね☆

大河内 結渚（ゆうな）ちゃん
（小島町）
平成26年12月生まれ
お散歩大好き元気な結渚♪　とびっきりの笑顔を毎日ありがとう！

小島 禮（れい）くん
（小焼野町）
平成25年12月生まれ
やんちゃだけど家族に癒やしと楽しさと笑顔をくれてありがとう。

小倉 颯真（そうま）くん
（富山町）
平成25年12月生まれ
歌とダンスが大好きな颯真。いつもステキな笑顔をありがとう。

佐山 織（しき）ちゃん
（岡島町）
平成25年12月生まれ
パパのおっぱいをチリチリしながら寝るのが大好きな織ちゃん♡

近藤 快音（かいと）くん
（米津町）
平成25年７月生まれ
プラレールが大好きな快音くん。これからもお姉ちゃんと仲良くね。

角谷 翠兎（あきと）くん
（上矢田町）
平成26年12月生まれ
お兄ちゃんが大好きなあっくん。ケンカもするけど仲良く遊んでね。

西尾市史ニュース 8

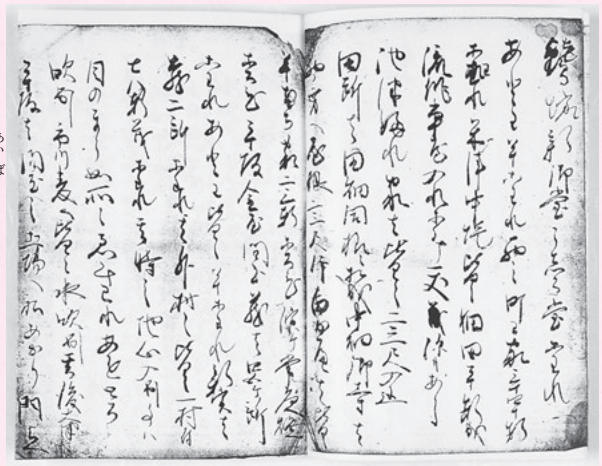
西尾を襲った大地震と津波

岩瀬文庫学芸員　神尾愛子

郷土の歴史を学ぶ目的の一つに「過去の災害を知り、現代の防災に生かす」ことがあります。西尾の地でも歴史上、あまたの災害が起こり、旧『西尾市史』第1巻でも詳細に紹介されていますが、その後に見つかった資料もあります。

幕末の嘉永7(1854)年11月4日と5日にマグニチュード8・4の巨大地震と津波がこの地を襲いました。いわゆる南海トラフ地震です。中畑村の船頭、中村安兵衛が記した『大宝年代記』によれば、「米津村中の堤防が決壊し、田畑が半分潰れ、民家も浸水した。地割れから泥水が噴出し、その後に大津波が襲った。平坂港では船が土場へ上がり、小栗新田、中根新田などの多くの新田が浸水。一色では船が川をさかのぼり、どの橋も押しつぶされた。安休寺の門前まで津波が来て饗庭(あいば)や塩浜は海のようになった。豊岡、吉田の堤防が27、8か所も切れ、この世が半分むしりとられたような心地がした」などとあります。

南海トラフ地震は、一般に100～150年の周期で繰り返されるといわれています。こうした記録は、現代の私たちに災害をより現実的なものと感じさせ、多くの教訓を与えてくれます。



▼『大宝年代記』
安兵衛が自分で見聞きし、感じたことを記した言葉には、生の迫力があります。

問岩瀬文庫（☎56・2459）

月刊!! スポーツにしお Vol.15

「ニュースポーツ」の紹介

ニュースポーツは「いつでも」「どこでも」「だれでも」気軽に楽しめるレクリエーション性の高いスポーツです。技術やルールが簡単で適度な運動量を備えています。また、年齢や性別にかかわらず楽しむことに重点を置いているため、人数や年齢などに合わせたルールで楽しめることも魅力です。

スポーツ課では、ニュースポーツの用具をいくつか保管しています。その一部を紹介します。

●ディスゲッターナイン

3×3配置の9枚のパネルをフリスビーやドッヂビーで打ち抜くゲーム

●バッゴー

約15センチ角のビーンバッグを傾斜したボードに向かってアンダースローで投げ、得点を争うゲーム

心身の健康や仲間を増やすためにニュースポーツを始めてはいかがでしょうか。用具を借用したい方は、スポーツ課までお問い合わせください。

問スポーツ課施設担当（☎54・0002／総合体育館内）

西尾市のデータ

■人口

	5月1日現在	前月比
男性	86,397人	＋99人
女性	84,549人	－22人
計	170,946人	＋77人
世帯数	61,674世帯	＋186世帯

■交通事故の状況

	人身事故件数	死傷者	
		負傷者	死亡者
4月	68件	84人	0人
1月からの累計	232件	280人	2人

■消防の状況

	火災	救助	救急
4月	1件	5件	518件
1月からの累計	21件	16件	2,234件

今月の表紙

愛知県最古の木造建築物、国宝「金蓮寺弥陀堂」です。このほど桧皮葺（ひわだぶき）の屋根が24年ぶりにふき替えられました。青空の下、美しく輝く新しい屋根が新緑に映えていました。ゴールデンウイーク期間中や、5月に行われた春の特別公開の期間中、県内外を問わず多くの人々が訪れました。

編集雑記

三ヶ根山青空フェスティバルに行きました。今年のポスターとチラシは市公認漫画「ニシオノ」とコラボレーションしたもので、見た瞬間思わず「おっ」と声が出るほど印象的でした。今後三ヶ根山で行われるあじさいまつりや秋色フェスティバルなどのイベントのポスターやチラシにもニシオノのキャラクターが登場する予定だそうです。ニシオノは10月に第3弾の連載が開始するということで、今年も三ヶ根山のイベントとニシオノから目が離せません。（き）

スクールスマイルショット

School Smile Shot

●幡豆小学校

4月20日、弘法山春みつけが行われました。入学したばかりの1年生が2年生とペアになって弘法山へ出発。元気に草むらを駆け回り、スミレやタンポポなどの春の自然を見つけていました。

●一色東部小学校

4月26日は東部っ子ハッピーデー。運動会などで協力する6つのチームに全校児童が縦割りで分かれ、ゲームを楽しみました。ゲーム中に自己紹介があり、学年を越えて互いを理解し合っていました。

●津平小学校

津平小学校の全校児童124人が5月10日、親子茶摘みをしました。新茶の香る茶畑では、親子で会話を楽しみながらも、真剣にお茶を摘む子どもたちの姿が見られました。

【西尾市役所】

URL （パソコン） http://www.city.nishio.aichi.jp/
（携帯電話） http://www.city.nishio.aichi.jp/mob/

E-mail nishio@city.nishio.lg.jp

■本　庁 ☎0563・56・2111（代表）
〒445-8501 西尾市寄住町下田22

■一色支所 ☎0563・72・7111（代表）
〒444-0492 西尾市一色町一色伊那跨61

■吉良支所 ☎0563・32・1111（代表）
〒444-0596 西尾市吉良町荻原川畑20

■幡豆支所 ☎0563・62・5511（代表）
〒444-0798 西尾市西幡豆町仲田14-2

バーコード対応の携帯電話などで読み取ると「モバイル@西尾市役所」が閲覧できます。